

平成24年行政事業レビューシート (復興庁、農林水産省)

| | | | | | | | | | |
|--|--|----------|------------------------|---|--------------------------------------|--------------|----------------------------------|-------------|---------------|
| 事業名 | 漁業経営体質強化機器設備導入支援事業 (復興関連事業) | | 担当部局 | 復興庁統括官付参事官 (予算会計担当) 水産庁漁政部企画課 水産業体質強化推進室 | | 作成責任者 | 復興庁参事官 尾関良夫 水産庁企画課長 新井 ゆたか | | |
| 事業開始・終了(予定)年度 | 平成23年度～24年度 | | 担当課室 | | | | | | |
| 会計区分 | 東日本大震災復興特別会計 一般会計 | | 施策名 | 16. 漁業経営の安定 | | | | | |
| 根拠法令 (具体的な 条項も記載) | - | | 関係する計画、 通知等 | 水産基本計画(平成19年3月20日閣議決定) 水産復興マスタープラン(平成23年6月) 復興への提言(平成23年6月25日東日本大震災復興構想会議) 「東日本大震災からの復興の基本方針」(平成23年7月29日 東日本大震災復興対策本部) | | | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内) | 東日本大震災の被災地の漁業を単なる現状復旧にとどまらない「省エネに優れた高収益・環境対応型漁業」に転換させるとともに迅速かつ効率的な漁業の再建を実現する。 | | | | | | | | |
| 事業概要 (5行程程度以 内。別添可) | 東日本大震災の発生により漁船水没や漁業用機器設備流失の被害を受けた漁業者のグループ等による、LED集魚灯・省エネ型エンジン等の最新の省エネ機器設備の導入費用を支援し、省エネ化の推進を図る。 (補助率:定額(漁業者グループによる導入費用の助成率は1/2以内)) | | | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | | | |
| 予算額・ 執行額 (単位:百万円) | | | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度要求 | | |
| | 予 算 の 状 況 | 当初予算 | | | - | 239(復興庁計上) | 326(復興庁計上) | | |
| | | 補正予算 | | | 831 | - | | | |
| | | 繰越し等 | | | △ 753 | 1,145 | | | |
| | | 計 | | | 78 | 1,385 | 326 | | |
| | | 執行額 | | | 12 | | | | |
| | 執行率 (%) | | | 15% | | | | | |
| 成果目標及び 成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 目標値 (23年度) |
| | 漁家子弟等の新規就業者と合わせ、毎年度1,500人の新規就業者を継続的に確保する。 | | | 成果実績 ① | % | - | - | 1,768 | 1500人 |
| | | | | 達成度 | % | - | - | 117.9 | |
| | 燃油使用量を削減 (省エネ機器設備を導入した漁業者グループ全体の燃油使用量を削減) | | | 成果実績 ② | - | - | - | - | 10% |
| | | | 達成度 | % | - | - | - | | |
| 活動指標及び 活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度活動見込 |
| | 省エネ化及び迅速かつ効率的な漁業の再建のために導入する省エネ機器設備数 | | | 活動実績 (当初見込み) | 台 | - | - | 14 (534) | - (94) |
| 単位当たり コスト | (1台あたりの機器導入単価) 217,286(円/台) | | | 算出根拠 | (23年度事業費) (機器導入実績) 3,042,000円÷14台 | | | | |
| 平成24・25年度 予算内訳 | 費目 | 24年度当初予算 | 25年度要求 | 主な増減理由 | | | | | |
| | 漁業経営体質強化機器設備導入推進費 | 9,855 | 9,855 | 被災地の省エネ機器設備への需要を踏まえ、増額 | | | | | |
| | 漁業経営体質強化機器設備導入推進事業費 | 229,520 | 315,679 | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 計 | 239,375 | 325,534 | | | | | | | |

| 事業所管部局による点検 | | | |
|--|---|--|--|
| | 評価 | 項目 | 評価に関する説明 |
| 目的・予算の状況 | ○ | 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 | ・当初予算額を上回る助成額の申請があったところであり、本事業に対する国民のニーズは高い。また、本事業は、被災地の漁業を省エネ型漁業への転換を促す観点から、国が行う事業として優先度が高い。 ・復興の基本方針で「LED等の省エネ設備の導入促進を行う」と示されており、国がイニシアチブをもって実施する必要がある。 ・なお、漁業者グループからの申請を審査の上、助成を行った結果、精算残が生じ、不用となった。 |
| | ○ | 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。 | |
| | ○ | 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 | |
| 資金の流れ、費目・使途 | △ | 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 | ・事業主体は公募により、選定しており、競争性は確保している。 ・助成対象となる機器に関し、原則として3社以上から見積書を徴することにより、コストの削減に努めている。 ・国が1/2を助成し、漁業者グループは1/2を負担する仕組みとなっており、受益者との負担関係は妥当である。 ・事業主体における、事務費用への支出は最低限のものであり、合理的である。 ・基準に合致した相当程度の省エネルギー性能を有する機器のみを助成対象としている。 |
| | － | 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 | |
| | ○ | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |
| 活動実績・成果実績 | ○ | 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 | ・基準に合致した相当程度の省エネルギー性能を有する機器のみを助成対象としている。 ・本事業は、省エネ機器設備に関し、震災によるメーカーの生産能力の低下や納品遅延、造船所等による設置・取付工事の遅延等が発生し、漁業者グループにおける平成23年度内の導入が困難となり、24年度に繰り越したため、現時点で活動実績・成果実績・達成度等の評価を行うことは困難である。（左記の評価欄について、「－」としている事項に関し） |
| | － | 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 | |
| | － | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | |
| | － | 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 | |
| | － | ※類似事業名とその所管部局・府省名 | |
| － | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | | |
| 点検結果 | <p>(1) 本事業は、23年度予算額の大半を24年度に繰り越すため、現時点で活動実績・成果実績・達成度等の評価及び当該評価を踏まえた改善方針の検討等を行うことは困難であるものの、当初予算額を上回る助成額の申請があったことから、国民のニーズにあった事業になっていると評価できる。</p> <p>(2) 23年度及び24年度の本事業の実施に際し、公募による事業主体の選定を行った結果、一者応募となった。本事業を実施するための漁業用機器設備の省エネルギー性能の基準を作成できるような法人は、現在の事業主体以外に見当たらないという状況にある。震災からの復興という迅速な対応が求められる事業であるが、引き続き、応募者数が増加するよう、公募期間の拡大等の見直しを検討してまいりたい。</p> | | |
| | <p>予算監視・効率化チームの所見</p> <p>－ 本事業は、24年度で終了の事業であるが、23年度においては、執行率が15%と低く、資金の流れのAについて、1者応募となっている。また、成果目標を「新規就業者数」のみしか設定しておらず、目標設定や成果の検証が不十分である。また、活動実績について、当初の見込みを下回っている。以上のことから、「執行額と予算額の乖離の改善」、「支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上」、「適切な成果目標の設定」、「活動実績が活性化するような支援方策の見直し」を行うべきである。また、本事業の成果の検証を行う必要がある。</p> | | |
| <p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p> | | | |
| 執行等改善 | <p>本事業は、24年度で終了としていたが、要望量調査の結果、平成25年度予算要求を行う事業である。本事業は、省エネ機器設備に関し、震災によるメーカーの生産能力の低下・納品遅延等によって漁業者グループにおける23年度内の導入が困難となり、23年度予算額の大半を、助成対象グループ及び対象機器を確定の上、24年度に繰越し、支援を継続しており、全額執行の見込みであり、改善すべき執行額と予算額の乖離は生じない予定。よって、本事業の支援方策としても適切であると考えられる。また、「新規就業者確保」に加え、「燃油使用量削減」に係る成果目標を設定しており、適切な目標の下、事業を実施しているところ。加えて、一者応募については、上記の点検結果のとおり、応募者数が増加するよう、公募期間の拡大等の見直しを検討してまいりたい。なお、本事業に関し、23年度予算額は前述のとおり、24年度に繰越しの上で支援を継続しており、現時点で成果の検証を行うことは困難であるが、事業完了時点で必要な検証を行ってまいりたい。</p> | | |
| <p>補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）</p> | | | |
| <p>関連する過去のレビューシートの事業番号</p> | | | |
| 平成22年行政事業レビュー | | 平成23年行政事業レビュー | 24新0062 |

農林水産省
12百万円

定額

【公募・補助】 (1/1)

A: 漁業経営体質強化機器設備導入支援事業: 9百万円
共同実施機関
(特定非営利活動法人 水産業・漁村活性化推進機構)
(社団法人 海洋水産システム協会)
※代表機関は特定非営利活動法人水産業漁村活性化推進機構

- ① 漁業者グループからの取組申請受付及び承認手続き
- ② 省エネ機器設備の性能評価
- ③ 省エネ機器設備導入に関する漁業者グループへの助成 等

省エネ機器設備の導入費用
の1/2以内を助成

(1/1)

B: 漁業者グループ
3百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

| A: 漁業経営体質強化機器設備導入支援事業共同実施機関 (代表機関: 特定非営利活動法人水産業・漁村活性化推進機構) | | | D. | | |
|---|------------------------------------|--------------|----|-----|--------------|
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 省エネ機器設備 導入支援事業費 | 省エネ機器設備(船外機:14台)の導入費 用の1/2以内を助成 | 3 | | | |
| 賃金 | 事務局員(2名) | 3 | | | |
| その他 | 通信運搬費、会議費、消耗品費等 | 2 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 8 | 計 | | 0 |
| A: 漁業経営体質強化機器設備導入支援事業共同実施機関 (社団法人海洋水産システム協会) | | | E. | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 賃金 | 省エネ機器設備調査員(3名)等 | 3 | | | |
| その他 | 旅費、委員謝金、消耗品費等 | 1 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 4 | 計 | | 0 |
| B: a漁業者グループ | | | F. | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 助成金 | 省エネ機器設備(船外機:14台)の導入費 用の1/2以内を助成 | 3 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 3 | 計 | | 0 |
| C. | | | G. | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|---|--|--------------|------|-----|
| 1 | 漁業経営体質強化機器設備導入支援事業共同実施機関(代表機関:特定非営利活動法人水産業・漁村活性化推進機構) | 漁業者グループからの申請等の受付、承認その他事業の運営及び指導監督、漁業者グループによる省エネ機器設備導入費用に係る助成金交付等 | 8 | 1 | — |
| 2 | 漁業経営体質強化機器設備導入支援事業共同実施機関(社団法人海洋水産システム協会) | 漁業用省エネ機器設備の性能に係る調査・情報収集及び評価分析、助成対象となる省エネ機器設備を選定する基準作成等 | 4 | — | — |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |

B.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|----------|----------------------------|--------------|------|-----|
| 1 | a漁業者グループ | 省エネ機器設備の導入による操業再開及び省エネ化の推進 | 3 | — | — |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |